

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 15日

事業所名 運動発達支援スタジオ笑みりい~大阪狭山

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	運動療育を行う上で、必要な広さを確保しています。	
	2	職員の配置数は適切である	83%	17%		既定の人員配置を満たしています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	83%	17%	色テープで活動の場所がわかるようにしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	利用クラスの終了毎に清掃、消毒作業を行っています。運動療育を行う上で、十分な広さを確保しています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	83%	17%		定期的話し合いの場を設け、職員全員で振り返りを行っていきたい。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	67%	33%		年度末に保護者にアンケートに答えていただき、結果を職員全体で振り返り、業務の改善に繋げています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	アンケート結果をホームページで公表しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	83%		現時点では第三者による外部評価は行っていません。今後実施できるよう検討しているところです。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	定期的に研修を行っています。	
適切な支援	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	83%	17%	作成時に保護者と面談を行い、ニーズや課題が反映されるよう努めています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	33%	67%		発達検査の事業所内での実施が難しいので、保護者様からその結果を伺い、支援計画に反映するようにしています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	発達年齢や今後の成長について、保護者と話し合い、必要な支援内容を設定しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	支援計画を職員全員で共有し、支援に当たっている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	空き時間を利用してチームで考えています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
課 の 提 供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	同じプログラムにならないように日々変えています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%		個別的な活動にも力を入れていきたいと考えています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	朝礼でその日の支援内容や役割分担を確認しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	毎日終礼時に支援内容の振り返りを行っています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	業務日誌や個人の記録をつけ、職員間で支援の情報共有しています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	半年に1度見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	児発管を中心に参加しています。	現場の指導員も参加できればと思っています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%		相談員や保護者との情報共有に加えて、関係機関とも連携できるようにしていきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0%	0%	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害児の利用はありません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0%	0%	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害児の利用はありません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	つながるノート作成や事業所での様子をお伝えしています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%		今のところあまり事例がないので今後は就学前に情報共有ができるように取り組んでいきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	保護者の承諾のもと、連携し、支援の助言を頂いたり研修の機会を持っています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0%	0%		今後交流の機会がもてるよう検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	100%	0%	地域の自立支援協議会の部会である子どもむすぶ会や担当者会議に参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	支援の終わりに活動の様子やお家での様子等お話しています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	17%	0%		ペアレントトレーニングや保護者も参加できる研修等を行っていきたく考えています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	見学、体験時や契約の際に書面を用いて説明を行っています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	支援計画の内容を説明し、同意を得た上で署名をいただいています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	面談や連絡ノートでのやり取りを通して行っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%	保護者会を開催しています。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	迅速な対応を心がけています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	ホームページのブログやインスタグラムで活動内容を掲載したり、ラインでお子さまの活動の写真や動画を見ていただいています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	個人を特定されないよう注意しています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	絵カードや写真等の視覚支援を活用しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	0%		今後地域交流が持てるようなイベントの開催を予定しています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	定期的に訓練を行っています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	年に2回避難訓練を行っています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	体験時や契約時に確保しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%		基本的に食べ物を提供していません。イベント等でおやつ等を提供する際は保護者に確認しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	ヒヤリハット報告書を作成し、職員で共有し話し合っている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	定期的に虐待防止の研修を行っています。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	0%	0%		現時点では身体拘束を必要とする児童はいません。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
--	--------	----	-----	---------	------------------------------

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。